

アフリカのキリン

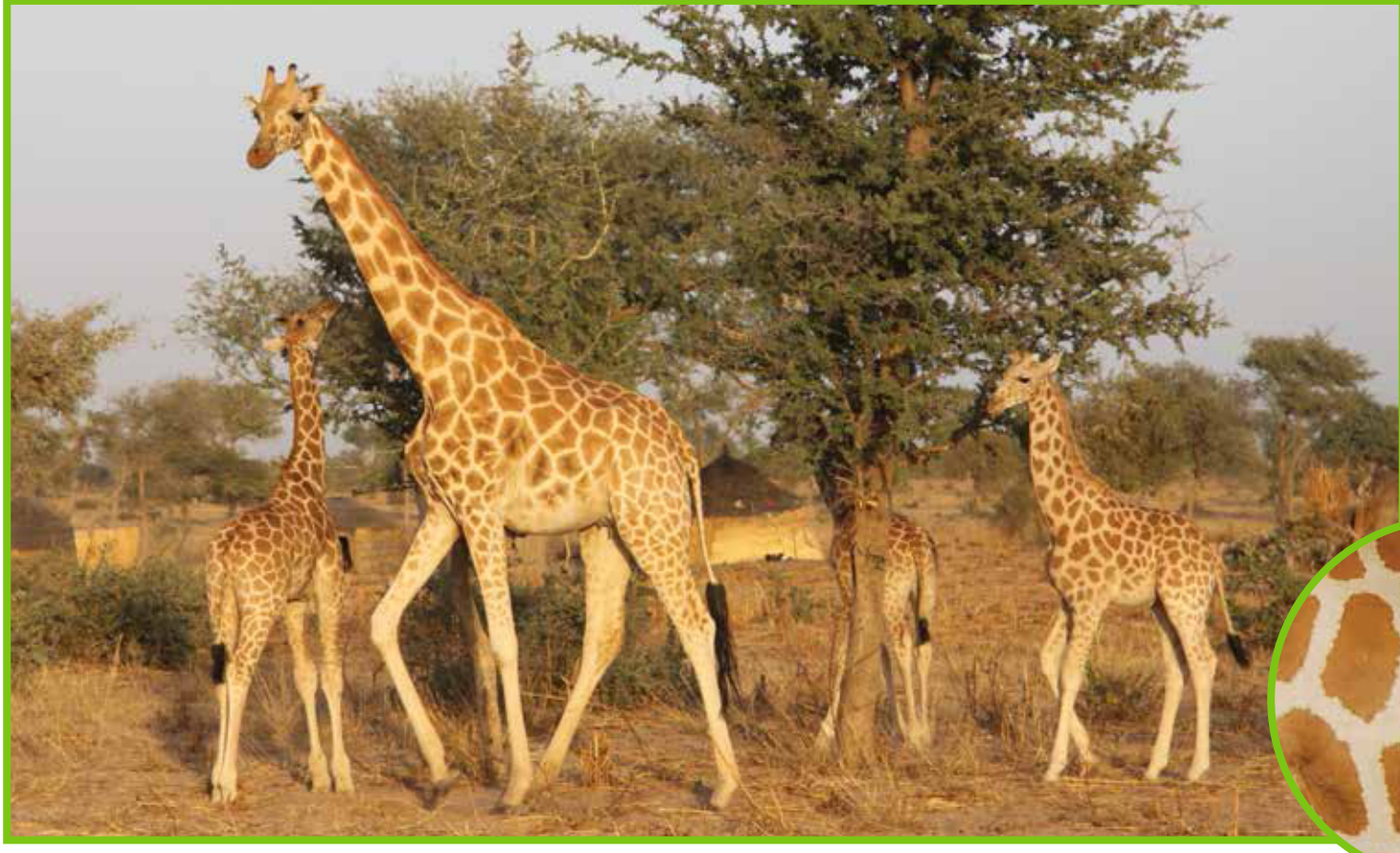
種類

画像と地図を提供してくれたCindy Armstrongさん、Billy Dodsonさん、Luke Hauslerさん (Zoo's Victoria)、Christopher Wadeさん、ありがとうございます。

歴史的には、キリンは1種 (*Giraffa camelopardalis*) で、9つの亜種が存在するとされてきています。この分類は今でもIUCN絶滅危惧種レッドリスト (Red List of Threatened SpeciesTM) で認められています。しかし、キリン保全財団 (GCF) は、パートナーであるゼンケンベルグ生物多様性気候研究センター (BiK-F) とともに、アフリカ全土におけるキリンの主要な個体群のDNAサンプリングと分析 (ゲノム、核、ミトコンドリア) を初めて実施しました。

キタキリン *Giraffa camelopardalis*

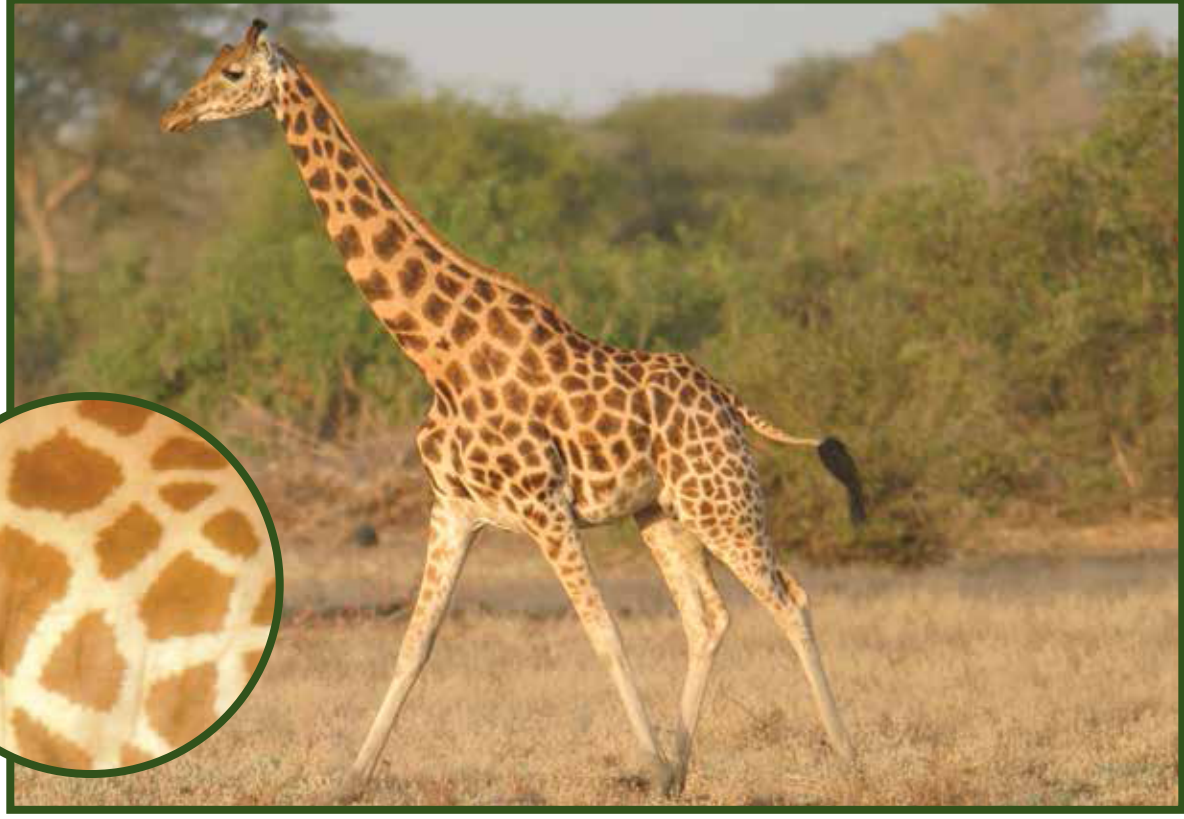
キタキリンは野生下で6,000頭弱と推定されており、主要地域では個体数が徐々に回復しています。3つの亜種はアフリカの東部、中央部、西部に生息しています。



西アフリカキリン *G.c.peralta*

20世紀初頭、西アフリカキリンはナイジェリアからセネガルまで広く分布していました。しかし1990年代半ばまでに、たったの49頭しか残っていませんでした。わずかに残った個体はニジェール政府によって保護され、現在では600頭以上まで数を増やしています。しかし彼らが主に生息している地域は首都ニアメの東部にある孤立した場所で、地元の村人と生活空間を共有しているため、未だその将来は懸念されています。この地域には他の大型哺乳類は生息しておらず、生息地の破壊と喪失が増えています。2018年にGCFはニジェール政府と協力して、8頭の西アフリカキリンをガダベジ生物圏保護区に移し、個体数と生息地の増加を目的とした新たな個体群を確立しました。2008年、西アフリカキリンはIUCNレッドリストでEN(危機)に分類されていましたが、2018年には個体数の増加によりVU(危急)へと引き下げられました。

西アフリカキリンは、見た目が軽いのが目立ちます。その斑紋は長方形で褐色、クリーム色で広く囲まれています。彼らの下肢に斑紋がありません。

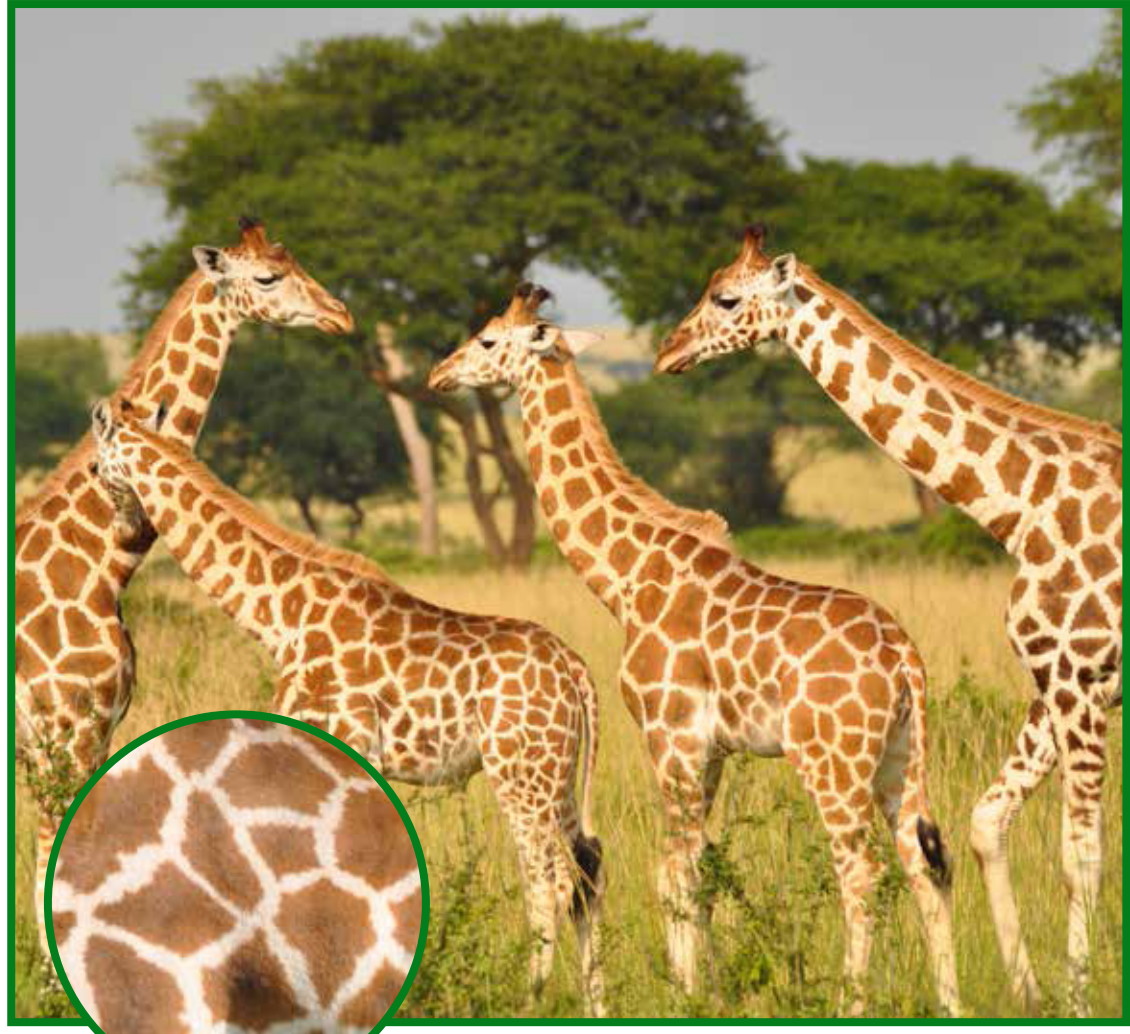


コルドファンキリン *G.c.antiquorum*

コルドファンキリンは紛争が多く、政治的に不安定な地域 (チャド南部、中央アフリカ共和国、カメルーン北部、コンゴ共和国北部、南スーダン西部) に生息しています。これらの紛争多発地域で約2,300頭が生息していると推定されています。ここ35年の間に80%以上個体数が減っており、IUCNレッドリストではCR(深刻な危機)に分類されています。コルドファンキリンの斑紋は淡く、不規則です。他のキタキリン亜種と同様に、下肢に斑紋はありません。

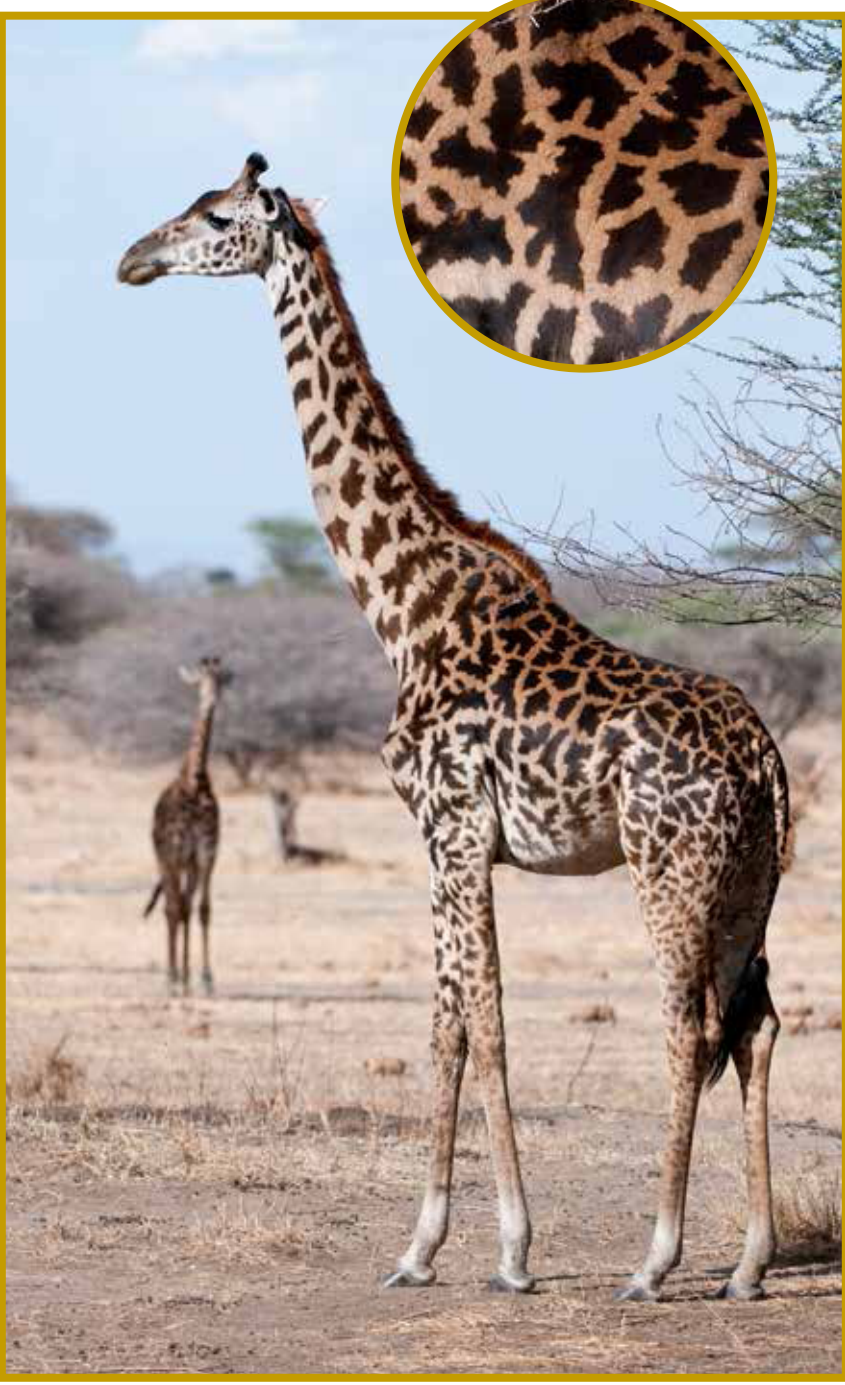
ヌビアキリン *G.c.camelopardalis*

ヌビアキリンの個体数は約3,000頭と推定されており、遺伝的に同一とみなされたロスチャイルドキリンも含んでいます。現在、エチオピア西部では175頭未満、南スーダン東部では450頭未満、ケニアでは約700頭、ウガンダでは1,800頭以上が生息しています。



マサイキリン *Giraffa tippelskirchi*

近年の研究により、マサイキリンには2つの亜種があることが判明しました。マサイキリンとルアングワキリンです。野生のマサイキリンは、現在45,400頭余りが生息しています。



マサイキリン *G.t.tippelskirchi*

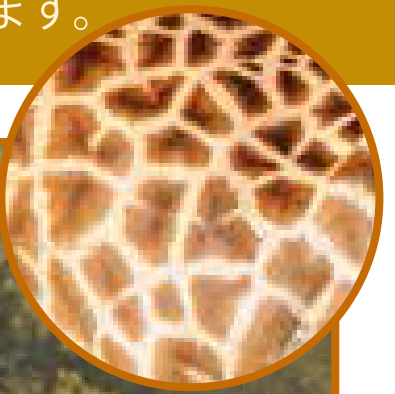
マサイキリンはケニア中部と南部、タンザニア全土に生息しています。マサイキリンが過去にルワンダに生息していたかは不明ですが、いくつかの個体群はルワンダのアカゲラ国立公園に移されました。35年前は71,000頭と推定され最も個体数の多いキリンでしたが、現在では44,750頭ほどしかいません。現在でも起こっている密猟や生息地の分断によって、マサイキリンの生息数は未だ脅威に晒されています。しかし最近の推定ではゆっくりと回復傾向にあることが示されています。IUCNレッドリストではマサイキリンが約50%減少していることに注目し、EN(危機)に分類されています。しかしGCFでは、ここ5年で増加傾向にあると評価しています。

マサイキリンの斑紋は大きく、暗褐色で、縁がギザギザしたつるの葉のような形をしているのが特徴です。その斑紋は、クリーム色の茶色で囲まれていて、それは下肢にまで続いています。

ルアングワキリン *G.t.thornicrofti*

ルアングワキリンはザンビア東部にある南ルアングワ溪谷で孤立した個体群として存在しています。個体数はここ数十年の間650頭ほどで安定していますが、1つの地理的地域にのみに少数の個体しかいないため、IUCNレッドリストではVU(危急)に分類されています。近年ではその生息域と個体数はゆっくりと増加傾向にあります。

ルアングワキリンの色彩や模様はマサイキリンに似ています。つるの葉のような形の斑紋があり、その周囲はクリーム色で、下肢に向かうにつれてギザギザになっています。



アミメキリン *Giraffa reticulata*

アミメキリンは比較的限られた地域にしか生息しておらず、ケニアの北部と北東部、そして小さな個体群がソマリア南部とエチオピア南部にのみです。およそ16,000頭が生息していると推定されており、35年前の約36,000頭から50%以上減少しています。この減少によって2018年にIUCNレッドリストではEN(危機)に分類されました。しかし、近年は保全活動が進められており、ケニア北部で個体数が増加してきています。アミメキリンの95%以上が政府の管理する保護区域外に生息しており、キリンの保全においてはその地域との協力が必要不可欠となっています。



橙褐色の斑紋に、脚の先まで続く印象的な白い線がくっきりと浮かび上がり、アミメキリンと呼ばれることがよくわかるでしょう。

ミナミキリン *Giraffa giraffa*

2つの亜種からなるミナミキリンは南アフリカに約50,000頭生息しており、キリン全体の40%以上を占めています。



アンゴラキリン *G.g.angolensis*

アンゴラキリンという名前にもかかわらずアンゴラでは絶滅しており、現在生息しているのはナミビアから移入した個体です。アンゴラキリンはボツワナ中部、ナミビア、ジンバブエに生息しています。いくつかの個体群はボツワナとジンバブエに移されました。30年前は5,000頭と推定されていたが、現在では4倍の20,000頭以上になっています。近年の個体数の増加を考慮し、IUCNレッドリストではLC(低懸念)に分類されています。

アンゴラキリンは比較的明るい色をしています。ナミビア北西部の特に乾燥地帯ではほとんど無色に近い、大きくて不規則な斑紋の周囲は淡いクリーム色で囲まれています。下肢もランダムに斑紋があります。



南アフリカキリン *G.g.giraffa*

南アフリカキリン (ケープキリン) は、アンゴラ東南部、ボツワナ北部、モザンビーク南部、南アフリカ北部、ザンビア南西部、ジンバブエ東部および南部を西から東に横断しています。過去に南アフリカキリンとアンゴラキリンが同じ地域に再導入されたことで、交雑種が生まれた可能性が高いと言われています。また、南アフリカキリンはアンゴラ、セネガル、南アフリカ、ザンビア、ジンバブエへの導入もされています。現在、南アフリカキリンの個体数は39,000頭と推定されており、過去30年間で著しく増加しています。

南アフリカキリンには星形の斑紋があります。褐色の濃淡があり、アンゴラキリンによく似ています。下肢にもランダムに斑紋があります。

分類と個体群

綱：哺乳綱

目：偶蹄目

科：キリン科

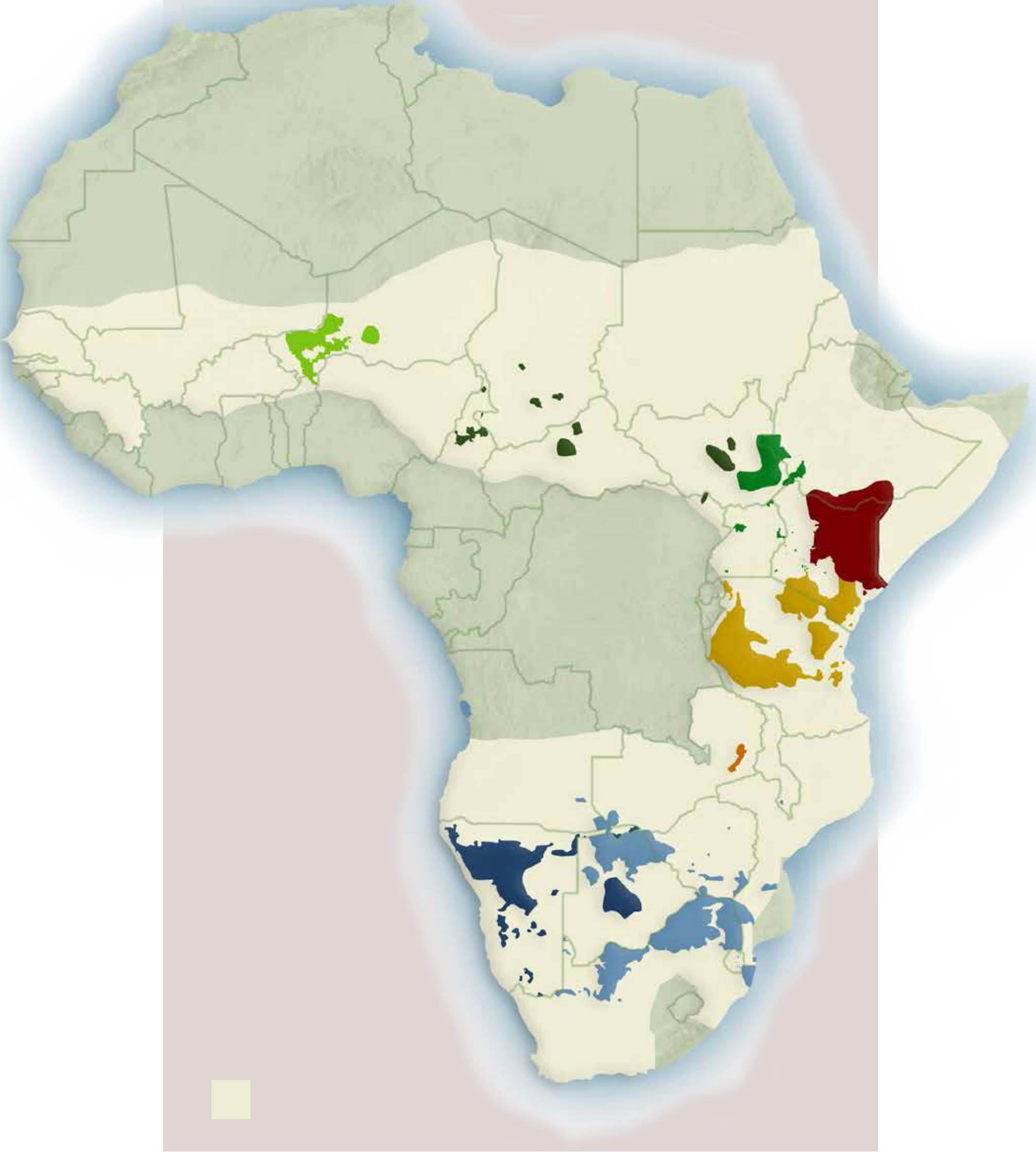
属、種、亜種

キタキリン
コルドファンキリン
ヌビアキリン
西アフリカキリン

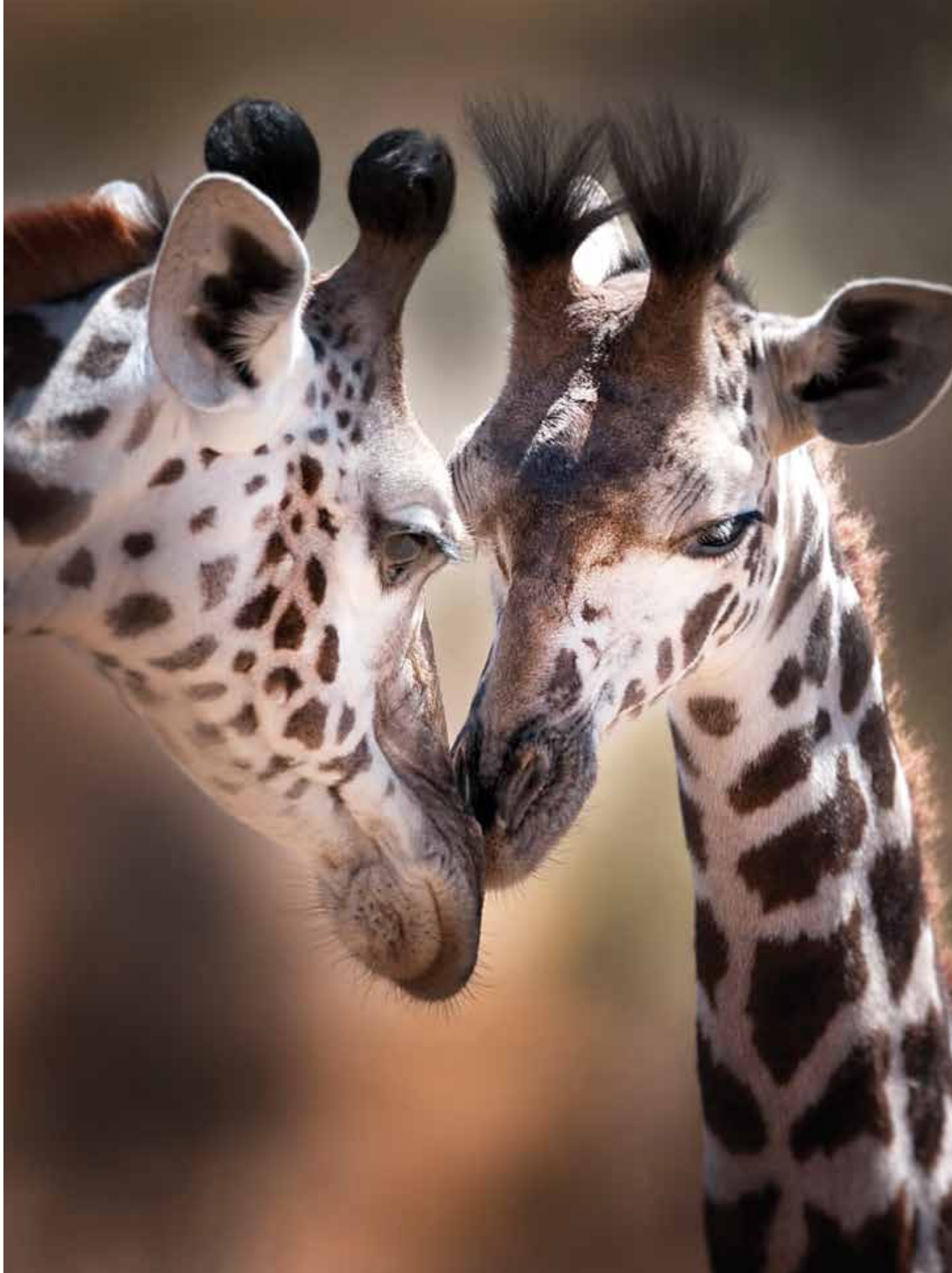
ミナミキリン
アンゴラキリン
南アフリカキリン

アミメキリン

マサイキリン
ルアングワキリン
マサイキリン



マサイキリン	<i>Giraffa tippelskirchi</i>	45,400
ルアングワキリン	<i>G. t.thornicrofti</i>	650
マサイキリン	<i>G. t. tippelskirchi</i>	44,750
キタキリン	<i>Giraffa camelopardalis</i>	5,900
コルドファンキリン	<i>G. c. antiquorum</i>	2,300
ヌビアキリン	<i>G. c. camelopardalis</i>	3,000
西アフリカキリン	<i>G. c. peralta</i>	600
アミメキリン	<i>Giraffa reticulata</i>	15,950
ミナミキリン	<i>Giraffa giraffa</i>	49,850
アンゴラキリン	<i>G. g. angolensis</i>	20,200
南アフリカキリン	<i>G. g. giraffa</i>	29,650



キリン保全財団 (GCF) は、野生のキリン個体群の持続可能な未来のために活動しています。GCFは、アフリカに生息するキリンの保全と管理に特化した世界で唯一のNGOです。

giraffeconservation.org